

日本人の風呂好きは古代ローマ人との共通項

日本人の風呂好き、入浴文化は昔から国民生活に深く溶け込んでいます。日本の一般家庭にはトイレと同様、風呂がついているのが普通です。

大半の日本人は、諸外国でも日本と同じように各家庭で毎日、風呂に入っていると思っているのではないのでしょうか。

諸外国ではシャワーが主流で、湯船にたっぷり湯をはり、バスタブに体を沈める入浴の仕方は日本独特のものなのです。



最近では、ボタン一つでお湯がたまり、適温になると風呂が沸きましたと音声で知らせてくれ、快適な入浴を楽しめるような風呂も出てきました。また、24時間風呂みたいいつでも入浴が楽しめる風呂もあります。

トイレのウォシュレットと同じでこのようなお風呂がある国は世界広しといえども日本だけなのです。

日本の風呂文化は江戸時代以前から現在までずっとつながっています。風呂に体を沈めることにより適度な水圧が皮膚を刺激し、体の汗・老廃物などが体から抜けだします。新陳代謝が進み、体があつたまり、清潔になり、リラックスできます。シャワーで身体の汗をとると、風呂は根本的に違うことを日本人は知っているのです。

何故、日本だけに風呂文化が根付いたのでしょう？日本人の清潔好き、日本の気象状況と水事情が大きく影響しています。夏場の高温多湿の環境下では風呂で身体を清潔にし、リラックスし、明日に備える必要があった。

日本の降雨量は世界平均の2倍、欧州の3倍もあり、水が豊富にあったことも風呂文化が発展した理由のひとつでしょう。

日本の風呂や温泉文化に感動する外国人は少なくありません。特に温泉は一度入ったらやみつきになってしまうという外国人が多いそうです。日本のお風呂は世界に誇れる文化のひとつ。これからも大切に受け継いでいきたいものです。

現在、世界で、日本以外で風呂文化が盛んな国はありません。**風呂文化は日本が世界に誇る文化の一つなのです。**

歴史を紐解くと、2000年も前のキリスト教が入ってくる前の「古代ローマ」は、日本と同様に風呂文化が盛んな国でした。古代の世界の中心地として栄えた古代ローマの遺跡には公衆浴場跡が残っています。

古代ローマ人も風呂を楽しんでいたのです。

風呂は日本人と古代ローマ人の共通項なのです。

ギリシャでスポーツの後や医療などの実用目的で風呂があり、その文化が古代ローマに入ってきました。この風呂の習慣、公共浴場が、同じ多神教で裸体や性に大らかな面があったローマにも受け入れられ、大流行しました。

古代ローマの公衆浴場は一種の社交場のようなものでした。

しかし、古代ローマでキリスト教が国教になると風呂は風紀上好ましくないということになり、次第にすたれていきました。



古代ローマの公衆浴場

遠くの山の水源から都市に水を供給する技術を持っていたローマ人は、900もの公共浴場を作りました。